

愛・誠・勇

福島市立福島第三小学校

令和 2 年度『学校だより』

第12号 R3, 3, 1

校 長 佐藤 秀美

文責 教務主任 齋藤 康則

校内縄跳び記録会

2月16日（火）から18日（木）に渡って、各学年ごとに「縄跳び記録会」を行いました。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、体育の時間でもマスクをしたまま運動しているため、長い時間続けて跳ぶ「持久とび」は行わず、より高度な技に挑戦することを主眼として取り組んできました。記録会では、それぞれの種目に自己ベストを目指して取り組む姿が見られました。クラス全体でチャレンジする「長縄」についても、「密」を避ける観点から実施を見合わせました。保護者の方の参観もご遠慮いただきましたが、記録会の様子をお子さんからお聞きいただけたかと思います。



P T A 理事会

2月25日（木）多目的ホールで今年度のPTA理事会を行いました。会議では、「令和2年度会計報告及び令和3年度予算案」「令和2年度活動報告及び令和3年度活動案」「来年度の主な学校行事」「令和3年度本部役員選考結果」について協議しました。また、本年度の総会について、保護者が一堂に会しての開催は見送らなければならない状況にあるため、「書面での表決」の実施について協議しました。

最後に、参加した役員の方々から、一言ずつ1年間の活動を振り返っていただきました。改めて「コロナ禍」の中で苦勞してPTA活動に尽力していただいたことに感謝するばかりでした。役員の皆様、1年間本当にありがとうございました。



三小ホームページ

子どもたちの学校での様子が少しでも伝わるように、三小のホームページの「ブログ」を毎日のように更新しています。ぜひご覧ください。（スマホからもご覧いただけます）

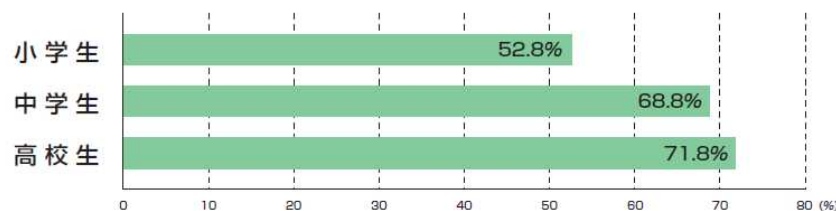


「疲れた」「疲れた」と言う 子どもが増えている。

今の子どもたちは小さいころから時間に追われ、遊ぶ時間も削られています。遊ぶゆとりのない子どもの中には、「疲れやすい」「何でもないのにイライラする」といったストレスを訴える子がかなりいます。

子どもは、ゆとりのある自由な時間を与えられることで、初めて心から遊びを楽しんだり創意工夫したりできるし、個性や創造性を伸ばせるのです。親は、勇気をもって子どもたちに時間とゆとりを与えましょう。

「疲れやすい」と回答した子どもの割合



(注) 小学生・中学生・高校生の生活時間の実態と意識に関する調査
資料:「放課後の生活時間調査」(2008年11月) Benesse教育研究開発センター
全国の小学5年生～高校2年生 合計8,017名(配布数25,716通、回収率31.2%)

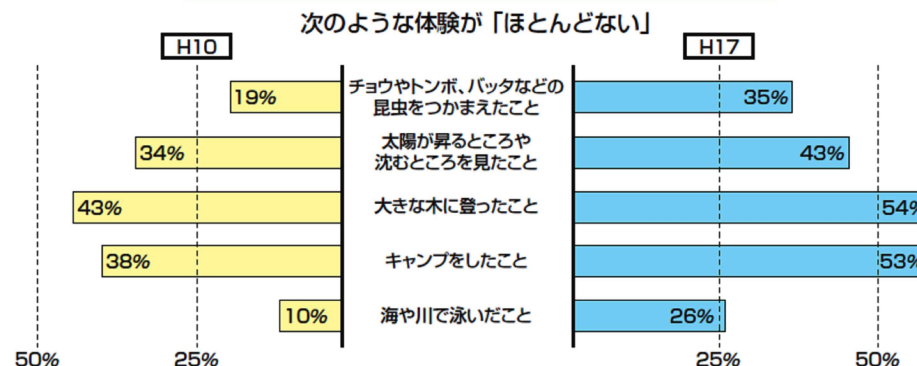
子どもの生活に時間とゆとりを与える

人生で大切なことは、 自然の中で学んだ。

テレビやテレビゲームなど屋内の遊びが増え、自然の中で遊ぶことが少なくなっています。野外で遊ぶことをすすめたり、実際に自然の中に連れだしたりして、動植物や自然とふれあう楽しさに気づかせましょう。地域の自然に親しむ活動に家族ぐるみで参加したり、時には親から離して子ども一人で参加させましょう。

自然の中で遊ぶことで、驚きや感動を体験し豊かな感性をはぐくむとともに、自然や環境を大事にする心や忍耐することの大切さなどを学びます。

自然体験をしたことがない小・中学生の割合



(注) 全国の公立小学校4・6年生と中学校2年生約1万4千人の調査結果
資料:「『青少年の自然体験活動等に関する実態調査』報告書」
平成18年・独立行政法人国立青少年教育振興機構

子どもは自然の中で遊ばせる